

発行元:株式会社アークフラッシュ本部

発行責任者 : 笹川 透

## 中国VWと契約

中国北京のVWの販社である一汽大和人 と株式会社アークフラッシュ本部は、今後清潔な車の提供で合意し、今後出荷される車種に対してアークフラッシュ施工をする事に合意しました。3年前のSARSの経験を活かし、快適な環境の提供を今後、車のユーザーに提供する事とした。

## 中国FULL LINK社と提携

中国北京、海南島などでショッピングセンター、オフィスビル、別荘の建設をしてるFULL LINKとMMCグループ、株式会社アークフラッシュ本部は中国国内でのアークフラッシュの普及と偽物の摘発、施工技術の監視などで合意し、中国国内で正規の代理店が活動しやすくする環境づくりに共に取り組む事とした。

## SARS等

感染経路がいまだ不明の新型肺炎SARS(重症急性呼吸器症候群)が流行しているが、感染症予防の基本は手洗い。米国疾病管理センター(CDC)によれば、感染症が広がるのを防ぐには手洗いが一番であるが、米国では3人に1人はトイレの後に手を洗わないとみられている。

きちんと手を清潔にしておかないと、経口感染の危険性があるほか、自分自身だけでなく周囲の人も菌で汚染させることになる。米ロードアイランド記念病院では、トイレの後には石鹸を使って温水で30秒以上、手を洗うよう推奨している。このほか手洗いが必要なケースは:

- ・調理前、調理中、調理後
- ・食前、食後
- ・動物やその排泄物に触れた後
- ・職場や家庭に病人がいるとき。 予防の見地から考察すると感染症が発生しそうな場所にアークフラッシュの敷設加工をすれば、より効果的になるものと思われます。**重症急性呼吸器症候群(Severe Acute Respiratory Syndrome = SARS)**

38度以上の急な発熱、せきや息切れなどの呼吸困難を起こす肺炎で、重くなると死に至る。世界保健機関(WHO)はSARSの原因について風邪などを起こす「コロナウイルス」の新種によるものと断定、「SARSウイルス」と命名した。

## 消毒剤被害

消毒薬として広く使われてきた化学物質のグルタルアルデヒドを吸い込むなどして皮膚炎や頭痛などを訴える医療従事者が相次ぎ、99年以降、8人が労災認定を受けていたことが分かった。事態を重くみた厚生労働省は、健康被害防止のため空気中の管理基準濃度を初めて設定し、全国の労働局に通達した。同物質が原因で労災認定された人の中には、「化学物質過敏症」になる人もいて対応の遅れが指摘されていた。グルタルアルデヒドは、シックハウス症候群の原因物質として規制されている

ホルムアルデヒドと同じアルデヒド類。優れた殺菌効果があり、内視鏡や、手術、歯科医療機器の消毒に使われてきた。ところが、日本消化器内視鏡技師会のアンケートでは消毒に携わる医療従事者の6割以上がグルタルアルデヒドの副作用を訴えていた。

厚労省によると、99年以降、皮膚炎や、手などの痛みやかゆみ、気道粘膜損傷、微熱、食欲不振などになった8人が労災認定された。これを受け、厚労省は専門家の検討委員会を設けて対策を検討してきた。通達ではグルタルアルデヒドの作業管理基準濃度を0.05ppmと設定した。これを超えた場合は、呼吸用保護具などを装着し、濃度を低く抑えるため、代替物質への変更や、自動洗浄機の導入、局所排気装置の設置などで、再度測定することとした。異常がみられた人には就業場所を変更するなどして、物質の有害作用などについて教育を行うなどとしている。英政府は99年に濃度基準値を0.05ppmとし、米国産業衛生専門家会議(ACGIH)も同濃度を勧告値としていた。ホルムアルデヒド等に対応したアークフラッシュの効果は数々の現場にて実証されています。医療機関へのアークフラッシュ敷設が急がれるところです。



兵庫県の保育園の施工



保育園など将来日本を担う園児の健康を守る。意義共感した保育園をアークフラッシュ施工いたしました。他、の非施工の保育園に対しての差別化を図っています